



関東学院大学

国 | 際 | 文 | 化 | 学 | 部

College of Intercultural Studies



関東学院大学

国際文化学部

College of Intercultural Studies



国際文化学部 学部長
鄧捷 教授

「言葉が通じれば、思いや考えが伝わる」コミュニケーションとは、そのような単純なものではありません。それは、日本語でやり取りをしても、しばしば誤解や行き違いが生じることからもわかります。意思疎通を図るには、相手の環境や価値観などの文化的背景に思いを巡らせる必要があります。国際文化学部では、グローバル社会を生きるのに必要な文化について、多様な視点で学んでいきます。英語文化学科では国際共通語としての英語を中心に英語圏の文化を、比較文化学科ではヨーロッパ及び日本を含むアジアの文化や言語を学びます。そうした学びを通じて、文化的背景が異なる人々が何を思い考えているのかを理解し、相手に共感した上で共に生きていこうとする姿勢や態度を身につけていきます。

まず語学力、そして世界へ

多彩な国内・海外研修プログラム

国内での「イングリッシュキャンプ」「日本文化探訪」、中国語、韓国語の検定試験対策講座に加え、「国際交流演習」や「ワールドスタディ」などの、欧米やアジアの国々における海外研修プログラムを多数用意しています。海外研修に必要な語学力を鍛えるe-learningのプログラムも整っています。

充実した導入教育と資格取得のためのサポート体制

4年間の学びを実りあるものにするために1年次春学期の「基礎ゼミナール」でレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方など、大学で学ぶための基礎的なスキルを身につけることができます。留学に必要なTOEFLや就職のためのTOEICのような資格試験はキャンパス内で受験することができます。グローバルラウンジ・アネックスでは、学生の能力や進度に応じた検定対策のレッスンを受けることもできます。また、必要な講座を受講すれば、中学や高校の教員（英語文化学科では中高の英語、比較文化学科では中学の社会、高校の地歴・公民）、学芸員、日本語教員、図書館司書などの資格を取得することができます。

世界各国の言語、文化、文学、歴史を学ぶ専門ゼミナール

日本語・日本文化、英語・英米文化をはじめ、フランス、中国、韓国など、世界各国の言葉や文化を研究する多彩な専門ゼミナールが開講されています。少人数制のゼミナールで、同じ興味を持つ学生同士が情報交換をしたり、議論を交わしたり、励まし合ったりしながら一人ひとりがテーマを深め、卒業論文に結びつけます。卒業論文発表会では4年間の学びの成果が在学生や教員の前で披露されます。専門ゼミナールで得た高度なコミュニケーション能力は社会に出てからも大いに役立ちます。

地域の特色を生かした教育・研究

国際都市ヨコハマにある大学として、神奈川県内にある美術館、博物館、資料館など様々な文化施設と連携して、特色のある講座を設けています。また、そうした施設から講師を招き、近隣地域の人たちを交えて、横浜や鎌倉の文化について語り合うシンポジウムを開催し、地域に根差した教育や研究を進めています。

英語文化学科 専門科目

●必修科目 ●選択必修科目 ●登録必須科目 ●選択科目 2024年度カリキュラム(予定)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門科目	1群 [英語スキル科目]	●English Presentation ●English Composition ●Academic English Skills 1 ●Academic English Skills 2 ●College English Grammar ●Communication Strategies ●Listening and Pronunciation (CALL) ●Reading Strategies ●留学準備講座1・2(※1) ●Reading Seminar ●Writing Seminar ●Listening Seminar ●Communication Seminar ●Academic Presentation ●Academic Writing ●Discussion and Debate ●Performing Arts						
	2群 [専門基礎講義科目]	●異文化コミュニケーション入門1・2 ●英語学入門1・2 ●英語圏文化入門1・2 ●英米文学入門1・2 入門科目で関心をもった内容を2年次よりコース別の専門科目でより深く学んでいきます。 英語圏文化・文学コース：●アメリカ文学史1・2 ●イギリス文学史1・2 ●児童文学1・2 英語コミュニケーションコース：●英語の歴史1・2 ●英語音声学1・2 ●現代英文法1・2 言語文化総合コース：●英米の思想と社会1・2 ●英語圏のメディアと文化 ●トランスナショナル文化論 ●英語科教育法1・2(※2) ●多文化交流セミナー						
	3群 [多文化交流科目]	3群では国際交流、社会、地域、キャリアなどについて学び、卒業後の進路に対する意識を高め、武器となるスキルを身につけます。 ●Global Identity and Citizenship(※1) ●国際交流論 ●多文化共生論 ●観光事業論 ●写真表現論 ●神奈川観光文化論 ●世界遺産学 ●ホスピタリティ論 ●編集・出版論 ●旅行業務取扱実務1・II・III ●国際経済学I・II ●映画と神奈川・横浜 ●神奈川・横浜の歴史と文化 ●資格英語 ●資格中国語 ●資格韓国・朝鮮語 ●資格フランス語 ●資格ドイツ語 ●資格スペイン語 ●ボランティアガイド実習 ●海外ボランティア論 ●NPOマネジメント ●比較宗教学特殊講義 ●翻訳論 ●通訳論 ●ビジネス英語 ●航空ビジネスと英語 ●映像メディア演習 ●ジャーナリズム演習 ●編集・出版演習 ●アート・コミュニケーション演習 ●Global Tutor Training ●多文化交流インターンシップ ●海外インターンシップ						
	4群 [専門講義科目]	英語圏の国や地域を中心に海外に短期滞在し、現地研修を実施します。講義で身につけた知識をもとに実践的に学びます。 英語圏文化・文学コース：●英語圏文化研究 ●英語圏文学研究 ●英語圏文化特殊講義 英語コミュニケーションコース：●英語音声研究 ●英語文法研究 ●日英比較研究 言語文化総合コース：●イギリスの言語文化 ●アメリカの言語文化 ●バイリンガリズム研究						
	5群 [専門演習科目]	●国際交流演習I・II・III・IV(英語圏地域文化探究・サービラーニング・イングリッシュキャンプ) ●英語文化基礎演習1 ●英語文化基礎演習2 2年次から少人数のゼミナールに所属して専門的な研究を開始。その成果を卒業研究や卒業論文としてまとめます。 ●ゼミナールI-1 ●ゼミナールI-2 ●ゼミナールII-1 ●ゼミナールII-2 ●卒業研究 English Seminar1(※1) English Seminar2(※1) 卒業論文(4) 英語圏文化・文学コース：●英語圏の演劇と文化 ●英語圏の詩と文化 ●イギリスの小説と文化 ●アメリカの小説と文化 ●英語圏の歴史と文化 ●グローバル社会と文化 ●Human Rights and Equality(※1) 英語コミュニケーションコース：●英語の音のしくみ ●英語の単語と文の成り立ち ●英語の意味と運用 ●英語からみる日本語 ●日本語からみる英語 ●社会言語学 ●Multilingualism and Cultural Diversity(※1) 言語文化総合コース：●英語圏の交流文化 ●英語圏の旅行文化 ●日英翻訳の実践 ●英日翻訳の実践 ●英語科指導法1(※2) ●英語科指導法2(※2) ●Media and Information Literacy for Sustainable Development(※1)						
自主選択学修科目	所属学部共通科目・専門科目のうち卒業に必要な単位数を超えた科目、所属学科以外の科目、横浜市内大学間単位互換制度による他大学開講科目をさします。							

卒業に必要な総単位数：共通科目36単位+専門科目72単位+自主選択学修科目16単位=合計124単位以上

・1年間を春学期、秋学期(1セメスターずつ)に分けて履修していきます。()は単位数。単位数がないものは2単位
※1：GAP生対象科目 ※2：英語科教職課程履修者対象科目

比較文化学科 専門科目

●必修科目 ●選択必修科目 ●選択科目 2024年度カリキュラム(予定)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門科目	1群 [基幹科目]	●異文化理解入門 ●合同ゼミナール ●比較文化論 ●映像文化論 ●身体文化論 ●宗教文化論1・2 ●日本文化論 ●東アジア文化論 ●欧米文化論						
	2群 [入門・概論科目]	●中国研究入門 ●アメリカ研究入門 ●朝鮮研究入門 ●日本研究入門 ●イギリス研究入門 ●南米研究入門 ●フランス研究入門 ●東南アジア研究入門 ●ドイツ研究入門 ●日本の文学 ●世界の文学 ●日本語からみる日本文化 ●倫理学概論1・2 ●哲学概論1・2 ●社会学概論1・2 ●法学概論(国際法を含む)1・2 ●外から見た日本1・2 ●日本史1・2 ●中国史 ●朝鮮史 ●イギリス史 ●フランス史 ●ドイツ史 ●スペイン史 ●アメリカ史 ●日本と欧米(日本の欧米理解)						
	3群 [多文化交流科目]	1~5群の各群から科目を履修します。2群から順に専門的な学びを深めていきます。 ●多文化交流セミナー ●国際交流論 ●観光事業論 ●写真表現論 ●神奈川観光文化論 ●世界遺産学 ●ホスピタリティ論 ●編集・出版論 ●旅行業務取扱実務1・II・III ●映画と神奈川・横浜 ●資格英語 ●資格中国語 ●資格韓国・朝鮮語 ●資格フランス語 ●資格ドイツ語 ●資格スペイン語 ●ボランティアガイド実習 ●多文化共生論 ●Global Identity and Citizenship ●Global Tutor Training ●海外ボランティア論 ●NPOマネジメント ●比較宗教学特殊講義 ●翻訳論 ●通訳論 ●ビジネス英語 ●航空ビジネスと英語 ●映像メディア演習 ●ジャーナリズム演習 ●編集・出版演習 ●アート・コミュニケーション演習 ●多文化交流インターンシップ ●海外インターンシップ						
	4群 [専門・講義科目]	●外国史1・2 ●人文地理学1・2 ●自然地理学1・2 ●地理学(地誌)1・2 ●日本の文化と社会1・2 ●中国の文化と社会 ●朝鮮の文化と社会 ●イギリスの文化と社会 ●フランスの文化と社会 ●ドイツの文化と社会 ●スペインの文化と社会 ●アメリカの文化と社会 ●現代の中国 ●現代の朝鮮半島 ●現代の東南アジア ●現代の南アジア ●現代のイスラム社会 ●現代のヨーロッパ(EU) ●現代のラテンアメリカ ●現代のキリスト教社会 ●日本文化史 ●映像文化史 ●文化史論1・2 ●日本の言語文化(古文) ●比較文学研究 ●日本語からみる異文化コミュニケーション ●文化人類学 ●民俗学 ●考古学 ●対照言語学 ●社会思想史 ●ジェンダー社会学 ●環境問題と現代社会 ●家族社会学 ●憲法 ●文献情報の基礎 ●生涯学習論 ●社会言語学						
	5群 [専門・演習科目]	2年次から研究を始める10人規模のゼミナールです。4年次には研究成果として卒業論文を仕上げます。 ●テキストを読む1・2 ●比較文化研究1・2・3 ●日本文化探訪1・2(4) ●ワールドスタディ1・2(各4) ●ゼミナール1 ●ゼミナール2 ●ゼミナール3 ●ゼミナール4 ●卒業研究 ●卒業論文(4)						
自主選択学修科目	所属学部共通科目・専門科目のうち卒業に必要な単位数を超えた科目、所属学科以外の科目、横浜市内大学間単位互換制度による他大学開講科目をさします。							

卒業に必要な総単位数：共通科目36単位+専門科目72単位+自主選択学修科目16単位=合計124単位以上

・1年間を春学期、秋学期(1セメスターずつ)に分けて履修していきます。()は単位数。単位数がないものは2単位

英語力を基礎にグローバル市民を目指す

グローバル化の進んだ現代、英語は国際共通語として世界中で使われています。英語文化学科では実践的な英語力を養うとともに、英語圏の文化・文学、そしてことばとしての英語のしくみを学びます。これらの学びを通して、世界の多様性を理解する国際人として社会にはばたいていける人材の育成を目指しています。

英語コミュニケーション能力を高める授業では、英語の4技能のスキルアップだけでなく、音声や構造、意味、歴史といった観点からも英語を学び、言語としての英語の本質を深く追求することができます。さらに、TOEFL、TOEIC、

英検などの資格取得に向けたサポートを授業の中でも外でも受けられます。

英語圏の文化を学ぶ授業では、文学、歴史、宗教など、さまざまな視野からその真髄に迫り、国際理解のために必要な力と教養を身につけます。また国内外での現地研修やPBLなどの機会をつうじて、実践的な国際コミュニケーションの力も身につけることができます。

また英語文化学科では、中学と高校の英語教師を志す人のための教職課程が設置されており、英語教育に重点を置いた科目も豊富に用意されています。

翻訳を通じて異文化理解

私は数十年に渡り、国際テレビ放送などで日英翻訳に携わってきました。その経験から学んだのは、言語的な理論の習得だけでは不十分な翻訳しかできないということ。例えば、日本語には英語と異なる特色として受動的な表現を頻繁に使う傾向があり、これは個人よりも和を大切にする日本人の国民性と大きく関連しているといえるでしょう。私はニュース原稿を英訳していたことがあるのですが、「～される」といった表現の多い文章を、能動的に変える工夫をしてい

ました。というのも、そのまま直訳すると英語を母国語とする人の言語文化に馴染まないのです。

言語にはそれを使う人たちのものの考え方や感じ方が色濃く反映されています。そのため、学生の皆さんにはただ単に言語を学ぶだけにとどまらず、その背景にある文化的な違いも知ってほしい。そうすることではじめて、自分と異なる文化圏の人たちとよりスムーズにコミュニケーションできるはずで、翻訳を学ぶことの真の目的はそこにあると思っています。

特徴的な授業

【英語圏の演劇と文化】

演劇は時代を映す鏡だと言われます。演劇の台本である戯曲を読むと、その時代に共有されていた社会通念や思想がうかがえます。この授業では、英国ルネサンスの劇作家シェイクスピアの書いた台詞を数多く読み、戯曲という文学形式について学ぶと同時に、そこから読み取れる自然や人間、世界に対する見方について考えます。

【英語からみる日本語】

「母から今日電話があった」という状況で、英語ではMy mother called today. (母が今日電話した) と単純に人の行為として表現できます。なぜ、英語はこのように表現できるのでしょうか。英語と比較することで見えてくる日本語の姿、それをこの授業で実感することで日本語の言語感覚も磨かれるはずで

【英語圏文化入門】

この授業では、多民族国家アメリカの歴史と文化について学びます。アメリカの民族や宗教に関する基礎知識を養い、音楽や映画などの大衆文化の発展から現代社会における多様化するジェンダーや格差問題などをテーマとして取り上げます。テキストだけではなく、映像や写真などの幅広い資料を通して、文化の生成と変容の過程について考えます。



翻訳研究が専門のデイヴィッド・ヒース先生

「国際交流演習Ⅰ,Ⅱ」現地研修



現地の人々との交流を通じ異なる文化やものの見方を理解し、英語を学ぶ意義を実感できる貴重な機会です。英語を使って社会に貢献できる活動をしたい方におすすめ！



ゼミナール



共通の関心を持つ仲間と指導教授の下、演習形式で学ぶゼミナール。ゼミ仲間と切磋琢磨してプレゼン力やディスカッション力を磨きたい人におすすめ！



国際交流 ON CAMPUS



オンラインや学内、地域のリソースを活用したキャンパス内の国際交流活動に参加できます。身近な環境で気軽に国際交流を体験してみたい人におすすめ！



英語資格試験受検サポート



留学や国際的なビジネスシーンに必要な英語力の指標となるTOEFL・TOEIC試験の無料受検サポート制度。英語力の進歩を客観的に確かめたい人にもおすすめ！



留学



英語圏への留学なら英語文化学科！実践型の英語トレーニングの授業も多く留学実現への近道です。英語圏で生活し、異文化を肌で感じたい人におすすめ！



GAP (Global Awareness Program)



卒業に必要な単位の60%以上を英語で受講できる英語文化学科独自のプログラム。海外留学や国際機関への就職を目指す人、英語教員になりたい人にもおすすめ！



英語科教職課程



「中学校教諭・高等学校教諭（英語）一種免許状」の取得が可能なのは、英語科教職課程がある英語文化学科。中学、高校の英語の先生になりたい人におすすめ！



イングリッシュ・キャンプ



ネイティブ・スピーカーの教員陣と英会話オンリーで過ごす合宿型の英語キャンプ。二泊三日の国内留学で「英語が喋れる」を実感したい人におすすめ！





「国際交流演習 I, II」 での現地研修

フィリピン・イロイロ市で
予定されているSDGs研修

「国際交流演習 I, II」
では、様々な国での
サービス・ラーニング
やSDGs研修に参加し、
幅広い視野を獲得する
ことを目指しています。

研修の行われる国や地域の
文化や社会問題について、
事前にしっかり学び準備
をしたうえで現地に行き、
現地の人々と英語を使っ
てコミュニケーションを取
りながら、協働で作業を
行います。2018・2019
年度にはハワイでサービ
ス・ラーニング研修を行
いました。

2023年度に予定してい
るフィリピン・イロイロ
市でのSDGs研修では、
現地NGOが行っている
貧困地域での活動に加
わり、実際に英語を使
いながら支援活動やイ
ンタビューなどを行いま
す。持続可能な社会の
形成に向けた新たなア
クションについて考え
る絶好のチャンスとな
るでしょう。



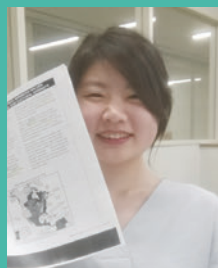
ワイキキにある老人ホーム
にて、習字のプレゼンテ
ーション。[2018年]



ゼミナール

映画からアメリカ文化を研究するゼ
ミに所属する増子春香さん。

ゼミでは先生と学生の距離も
近く、発言する機会が自然と
多くなります。誰に気兼ねす
ることなく思ったことを自由
に発言できる雰囲気はゼミな
らではだと思えます。今まで
見た映画でとくに印象に残っ
ているのは『ローマの休日』
です。時代も境遇も私の日常
とはかけ離れた物語ですが、
たった1日で見違えるように
成長するヒロインに感動しま
した。彼女が自分の人生に向
き合う決意をする瞬間を感じ
とれたような気がしたので
す。ゼミの発表では、社会の
なかで女性が置かれている
立場について考えてみたい
と思っています。



国際交流 ON CAMPUS

ダルマプルサダ大学の
学生とのオンライン授
業風景



身近な国際交流の活
動として、オンライ
ンで海外の大学や学
生とつながったり、

留学生やキャンパスを訪
れた海外の学生・研究
者、地域の外国籍の方
々と交流をする授業も
行われています。オン
ライン国際交流では、
主に海外の大学で日
本文化や日本語につ
いて学んでいる学生
と英語でコミュニケ
ーションを取り、交
流しています。例
えば、インドネシア
のダルマプルサダ大
学の学生とは、お
互いの文化を教え
合ったり、共同で
国際交流企画を
立てたりするプロ
ジェクトに挑戦し
ました。授業も
発表ももちろん
すべて英語です。

学内での交流活動として
は、大学ラグビー部に
所属する留学生を特
別講師として迎え
てRugby Workshop
を開催しました。
ラグビー部の協
力のもと、専用
のグラウンドで
体を動かしながら、
ラグビーのル
ールやプレーを
英語で学ぶ体験
は他の大学では
なかなか得られ
ないものでしょ
う。その他にも
ハワイの大学で
現代のハワイ文
化や社会事情を
研究する教員
の講義を受け
たり、アメリカ
の大学で日本
語を学ぶ学生
とお互いに日
本語・英語を
教え合ったり、
様々な形で
世界が身近に
感じられるよ
うな国際交流
の取り組みが
なされています。



英語資格試験の受検サポート

英語文化学科では留学に必要なTOEFLと、就活などで役立つTOEICの無料受検を支援しています。TOEFL ITPは1・2年生全員を対象に毎年7月に実施。TOEIC IPは全学年の希望者を対象に例年2月に実施しています。1年次の「基礎ゼミナール」にはTOEFL対策講座が含まれています。また、卒業までに英語資格試験に関する授業を受講する必要があります。将来の可能性を広げるためにも英語資格の取得にはぜひ果敢にチャレンジしてください。



留学

長期留学が目標だった高橋友哉さんは、アメリカ留学中に新たな目標ができました。(2019年卒業)



「留学すると世界が変わる」とよく聞きますが、留学してみてもはじめてその意味がわかりました。現地の学生は、それはもう本当に一生懸命、勉強していて、「なんで勉強するのか」、「これを知りたいから勉強する」、というものがはっきりしているんです。彼らからはたくさんの刺激をもらいました。負けず嫌いな僕をやる気にさせる起爆剤的なものが、留学中は、いろいろなところにあつたように思います。「自分が本当にやりたいことってなんだろう」、ということも真剣に考えるようになりました。卒業後はイギリスの大学院へ進学して言語学を学びたいと思っているので、今はそれを目標に頑張っています。(2019年秋より英国の大学院へ進学)



リンフィールド大学(アメリカ・オレゴン州)



英語科教職課程 (英語教員の養成)

教育実習を終えたばかりの石田礼奈さん。(2019年卒業)



私は中学校の英語教員になることを目指して大学では英語や教職の授業をとっています。教職の授業では授業作りなどを学んでいますが、自分が生徒だった頃の見方とは異なる、教える側の視点で見るため、毎回新しい発見があります。生徒と関わりを持つために1年次から参加している中学校の学習支援のボランティアでも、たくさんのことを学びました。教職の集大成ともいえる4年次の教育実習で初めて教壇に立ったとき、生徒との間に予想もしなかったコミュニケーションが生まれたりしたことがとても面白かったです。そのとき授業は生徒とともに作っていくものなのだと肌で感じました。大変なこともあります。生徒が楽しく学んだり、人として成長したりする姿を見ると、教員になりたいという気持ちが強くなります。



GAP (Global Awareness Program)

仲間と作成したアメリカの食文化に関するポスターの前で。



GAP (Global Awareness Program) は、英語文化学科独自の特別プログラムです。

このプログラムでは、高度な英語コミュニケーション能力、多文化世界に関する知識・理解、主体的に課題解決に取り組もうとする意欲、国内外で共同できる異文化コンピテンシーを備えたグローバル人材の集中的な育成を目指します。GAPでは、卒業に必要な単位の60%以上を英語による授業で修得できることに加えて、最大40万円の留学支援金の給付やダブル・アドバイザー制度など、様々なサポートを用意しています。

GAPは、一般入試前期日程2科目型の受験者、総合型選抜9月募集資格型の受験者のみを対象としています。



イングリッシュ・キャンプ

英語の日常会話を身につけたいと、ずっと思っていました。1年次の履修科目にこの授業を見つけ、すぐにエントリー。ネイティブ・スピーカーの先生たちと過ごす2泊3日は、瞬く間の出来事でありながら楽しく、刺激的でした。学生同士の日常会話もすべて英語に限定されますが、英語が得意でなくても引け目を感じる必要はありません。グループ単位で発表する英語劇や、暗唱コンクールを通じて、先生や友だちと意思疎通を図ろうとして、ふと英語で話している自分に気づき驚愕。性格まで積極的に変わるような、素敵な経験ができました。



多文化共生社会で生きる

国内でも国外でも国際的に活躍できる人間に

比較文化学科ではさまざまな国・地域の文化を学びます。ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス）、アジア（中国、韓国）、アメリカを中心に、それぞれの国・地域の文化を多様な観点（文学、芸術、歴史、宗教、思想、政治など）から学び、広い視野をもって国際的に活躍できる人材を育成します。

外国語も、英語に加えて5つの言語（フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国語）からひとつを選んで学び、ワールドスタディやスタディツアーといった海外研修、たくさんある協定校への留学を通じて、授業で得た知識を現地でより深めながら、コミュニケーションスキルの向上をはかることができます。

比較文化学科で学ぶ国には私たちの日本もふくまれます。まずは日本を知り、そこから外国の文化について考えていくというのが、比較文化学科の理念です。外国人に日本語を教える日本語教員の養成課程もあります。また、国や地域を中心とする文化のほかにも、映像文化やスポーツ文化を学ぶことができ、みなさんの関心次第でいろいろな勉強ができます。

比較文化学科は名前の通りさまざまな文化を学びそれらを比較することを目的とします。ですが、ただに知識を増やしたり比較したりするだけでは国際的な人間にはなりません。たくさんの国の文化を知り比較することで、自国の文化にとらわれない広い視野をもつことが重要です。いま日本には多くの外国人が暮らしていますが、その数はこれからもっと増えていくと言われています。みなさんの周りにも見知らぬ外国人の住む地区や街ができるかもしれません。そのような「多文化共生」の社会で起こる、誤解や偏見にもとづくさまざまな問題、いさかきを、幅広い知識と言語能力、そして広い視野で解決する、そういった人間を目指してほしいと私たちは考えています。

国際的に活躍するために必ずしも海外に出ていく必要はありません（もちろん海外で活躍できればそれは素晴らしいことです）。比較文化学科では、日本を知り世界を学び、国内でも国外でも国際的に活躍できる人間を育てていきます。



イギリス文化担当の君塚直隆先生

特徴的な授業

【異文化理解入門】

そもそも異文化ってなんだろう？比較文化学科の学生が最初に出会うこの問いに答えるために、一年生の春学期に「異文化理解入門」という授業が設けられています。この授業では比較文化学科の先生方が交代で自分の異文化体験について話してくれます。さまざまな国や地域を研究する先生方は異文化についてどのように考えているのでしょうか？まずはここで異文化に対する自分なりの考えをまとめてみましょう。

【合同ゼミナール】

比較文化学科ではゼミナールによる少人数制の教育を重視しています。合同ゼミナールでは一年生を各30名程度のグループにわけ、先生方が地域や分野ごとにそれぞれのグループで交代で講義を行います。一方的な講義ではなく、学生との対話や議論、グループワークが中心となり、学んだことをきちんと表現できるかが問われます。二年生からは学生の発表が中心となる専門ゼミナールがはじまりますが、その予行演習となる大事な授業です。

【フランス研究入門】

比較文化学科ではさまざまな国や地域の文化を学びますが、それぞれの国と地域について基本的な情報を学ぶ「研究入門」の授業が設けられています。そのうち「フランス研究入門」では一般的なフランスのイメージとはちがう、いわばフランスの「裏の顔」が紹介されます。たとえば、フランスは「移民の国」と言われるほどたくさんの外国人が住んでおり、異文化の交流や摩擦が日常的に生じています。フランスの文化についてなにをどのように考えればいいのか、そのきっかけをあたえてくれる授業です。

社会科教職課程



日本や世界の歴史・文化を自分が知るだけじゃ物足りない、学校の先生になって中学生や高校生にその面白さや奥深さを伝えてみたい、という人にはこれ！



ワールドスタディ



大学で学んだ知識を現地で確かめてみたい、海外で異文化にふれてみたい、でもいきなりひとりで留学するのはちょっとつらいかも、という人のためにまずはこれ！



日本文化探訪



海外もいいけど自分はやっぱり日本が好き、日本のことをもっと知りたい、日本の文化をもっと海外に広めたい、という人にはこれ！



留学



大学に入ったら留学をしてみたい、でもどうすればいいのかわからないし留学してちゃんと卒業できるかも不安、でもやっぱり留学はしたい、という人にはこれ！



ゼミ



大人数の授業よりも少人数でじっくり先生の話を知りたい、ただ聞いているだけじゃなくて、先生や友達と異文化についてたくさん議論をしたい、という人にはこれ！



日本語教員養成課程



国際交流と言われてもなにをすればいいのかわからない、外国語も得意じゃないし、外国の人に教えられるものって自分にあるのかな、という人にはこれ！



中国語・韓国語検定試験対策



いま中国語に勢いがあるって聞いたから、韓国が大好きで留学もしたいから、検定試験に合格したいし、語学力を身につけたい、という人にはこれ！



旅行業務取扱管理者



将来は旅行会社に就職したい、でもなにか難しい試験を受けたいといけなくて聞いたような、自分ひとりで勉強して合格できるか不安だな、という人にはこれ！



社会科教職課程

比較文化学科では、中学校教諭（社会）・高等学校教諭（地理歴史・公民）の一種免許状を取得できます。教職課程では、比較文化学科の専門科目のほか、教員になるために必要なことを「教職課程に関する科目」のなかで学びます。それらの授業では、知識をまなぶだけでなく、模擬授業を通じて実践的なスキルアップもおこない、最終的には教育実習に参加します。免許取得にいたる道のりは決して平坦ではありませんが、教育実践センターには経験豊富なアドバイザーがおり、教職課程のことや卒業後の進路について相談に乗ってくれますので心配いりません。卒業後は教師への道を一直線に進んで教員採用試験の合格を目指す人もいれば、さらにスキルに磨きをかけて専修免許状を取得するため大学院を目指す人もいます。日本、アジア、欧米の歴史を専門とする教員が揃っているのは比較文化学科だけです。歴史好きな人は教員になる夢、ぜひ比較文化学科でかなえてください。

日本文化探訪

比較文化学科にはもうひとつ、日本文化探訪という研修の制度があります。ワールドスタディは海外に行つて外国の文化を学ぶためのものですが、こちらは海外ではなく、鎌倉から京都、長崎、沖縄まで、国内各所をめぐり日本の歴史や伝統的な文化を学ぶためのものです。ふつうに旅行をしていては知ることのない現地の歴史や伝統を知ることができます。日本文化探訪は、「日本を知り世界を学ぶ」という比較文化学科の目的に欠かせないプログラムです。日本文化探訪で経験したことは、自分にとってだけでなく、海外の人に日本の文化を紹介するときにもきっと役に立つでしょう。ワールドスタディも日本文化探訪も授業のひとつですから、ほかの授業と同様に単位を取得することができます。

ワールドスタディ


比較文化学科には、大学で学んだ海外の文化に関する知識を、実際に現地に行つて自分の目で確かめより深める、ワールドスタディという海外研修の制度があります。教員の引率のもとで一週間ほど海外に滞在します。ほかの学生といっしょに行くためひとり心細くなることもありません。ヨーロッパの美術館を訪れ、アメリカ先住民に会い、中国で日本語を学ぶ学生と交流し、韓国でK-POPや韓流文化に直接触れる、こういった体験を通じて、異文化というものをより身近に、そして生々しく感じてもらいます。この体験はきっとみなさんが大学で勉強する大きなモチベーションとなるはずです。ワールドスタディ以外にもいろいろな海外研修の制度があります。ぜひ利用してください。



北京でワールドスタディ

留学

関東学院大学は海外にたくさんの協定校をもっており、毎年多くの学生が留学しています。比較文化学科の学生も、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、中国、韓国など、世界中の国に留学しています。期間はひと月、半年、一年から選べ、また本学の国際センターが窓口となつてつねにサポートしてくれますから、自分の計画に合わせて安心して留学することができます。留学先の大学で取得した単位を関東学院大学の単位に振り替えることができるため、卒業が遅れることもありません。最初は不安いっぱい、あるいは軽い気持ちで留学した学生も、帰ってくるとみちがえるように成長しています。比較文化学科では異文化や語学の勉強にとても力を入れているため、留学先で学んだことを存分に生かすことができます。みなさんもぜひ比較文化学科で留学してみてください。



カナダで語学研修！

ゼミ

大学には二種類の授業があり、ひとつは大教室で行われる講義、もうひとつが比較的小さい教室で行われる少人数の「ゼミ」(ゼミとはゼミナールの略です)です。比較文化学科では、このゼミを一年生から実施しています(ふつうは三年生や四年生からのところが多いようです)。一年生の前半に基礎ゼミ、後半に合同ゼミがあり、二年生からは、学生が興味のある分野の先生をひとり選んで専門ゼミに入ります。基礎ゼミと合同ゼミは全員が同じ内容を学びますが、二年生からの専門ゼミでは、自分が選んだ先生ところで、その先生の専門について学びます。いずれも少人数制で先生と距離が近く、またゼミ生同士の議論が主体となるため、より集中して効果的に学ぶことができます。ゼミによっては夏休みや春休みに合宿に行くところもあり、大学で思い出をつくる場所にもなります。みなさんもぜひゼミに入って大学での勉強をもっと面白いものにしてください。



宗教文化をテーマにしたゼミでの発表の様子

中国語・韓国語検定試験対策

比較文化学科では、英語のほかにフランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国語からひとつを選んで学びます。中国語では、中国語検定(HSK)の合格を目指して毎年春休みに約一週間の集中講座を行っています。受講した学生は非常に高い合格率(ほぼ100%)を誇っています。韓国語も授業を中心に勉強を重ね、多くの学生がハングル能力検定に合格しています。合格した人の多くは大学に入って初めてこれらの言語を学んでおり、さらに、取得した検定を活かして中国、韓国に留学してきました。語学の資格取得や留学を考えている人にはおすすです!



HSK中国語検定試験対策講座

日本語教員養成課程

ほかの学部にはない比較文化学科の特徴のひとつに、日本語教員養成課程があります。この課程では、日本語教育を専門とする先生のもと、外国人に日本語を教えるための技術や方法を学びます(日本語教員に必要な日本語教育能力検定試験の合格を目指します)。日本語はマンガやアニメの影響で海外でも大人気で、日本語を学ぼうとする外国人は今後ますます増えていくなされています。日本語教員のいいところは「日本語を教えながら国際交流ができる」ことです。もちろん、そのためには英語やほかの外国語を身につけておくことも必要となるでしょう。日本語教員は、「日本を知り世界を学ぶ」ことを目的とする比較文化学科にぴったりの職業だと言えます。比較文化学科には中国やベトナム、カンボジアからの留学生がいますから、彼らとキャンパスで交流することも、日本語教員を目指すよいモチベーションになるはずです。

旅行業務取扱管理者

比較文化学科からは旅行会社に就職する学生が毎年のように出ています。「旅行業務取扱管理者」は旅行会社に就職するにあたって必須となる国家資格で、比較文化学科では、在学中にこの資格を取得することを目的とした授業が開講されています(一般の授業なので資格試験の可否にかかわらず単位が取得できます)。一年生から受講でき、専門の教員による指導のもと過去10年間で延べ80名ほどがこの難関の国家試験に合格しています。学ぶ内容は法律から地理、さらには観光の知識、運賃の計算までさまざまですが、比較文化学科の学生の興味・関心に沿っており、毎年多くの学生が試験の合格を目指して受講しています。

卒業生の声

英語英米文学科 (現・英語文化学科)
2018年卒業
細野 実波 さん



「大学で専門的に英語を学ぶ意味は「英語の神髄に触れること」にある」と語る卒業生の細野実波さん

私が英語を学び始めたきっかけは「英語が喋れたらカッコいい！」からという単純なものでした。でも、そこから中学、高校、大学と英語を学び続けて、今では高校の教員として働いています。

大学で専門的に英語を学ぶ意味は「英語の神髄に触れること」にあると私は思います。高校までの英語の授業では、英語をきっかけに自分自身のことや、自分を中心とした世界に目を向けるような内容が多いですね。一方、大学では、英語という“ことば”自体に焦点をあてて、文字や音、語順など英語の様々な要素について学び、それぞれが持つ意味を深く考えます。

今、私が教えている生徒もかつての自分のように「英語が喋れたらカッコいい！」という気持ちを持っているのではないかと思います。たまに英語が苦手な生徒もいますが、ひとりで取り組むのは難しくても、教員のバックアップがあれば、苦手なことも乗り越えられるはずだと私は信じています。生徒の理解をサポートする際に、大学で学んだ「英語の神髄」が生かされていると感じています。生徒が「英語を喋れたらカッコいい！」という気持ちを持ち続けられるように私も日々頑張っています。

英語文化学科 DATA

目指せる資格・免許

○TOEFL/○TOEIC/○英語検定/●中学校教諭(英語)/●高等学校教諭(英語)/●日本語教員/●司書/●司書教諭 ほか

卒業後の主な進路

運輸・航空業/観光・ホテル業・飲食業/金融保険業/商社/外資系企業/建設製造業/情報通信/卸小売/医療福祉/サービス業/教員(中学・高校)/学習塾/国家・地方公務員/大学院進学/英語圏大学・大学院進学 など

(記号) ○→学科関連資格 ●→所定の課程の履修で資格取得
※過去5年間の実績より抜粋。

卒業生の声

比較文化学科
2016年卒業
川口 緑 さん



「日本で働いていても異文化理解は重要になってきている」という卒業生の川口緑さん。

高校時代にさまざまな国の文化に興味を持ち、比較文化学科で国際文化について学びました。私はアメリカ文化を研究するゼミに所属し、消滅危機言語であるハワイ語の衰退と、リゾート地となってしまったハワイという土地での先住民のありかたについて研究しました。現在は地元にある農業協同組合の金融関係に就職し、窓口係としてお客様の貯金のお手伝いをしています。農協は銀行とは少し違い、地域農業を支えるための企業です。文学部から経済の道へと進み、まだまだ勉強に励む毎日ですが、地元とそこに暮らす人(外国の方もいます)を大事にするという点で、学生時代に異文化について学んだことが活かしていると感じます。日本で働いていても異文化理解が重要になってきているなど思うことが多いですね。在学中にアメリカやハワイに行ったこともあって、お客様と海外旅行の話をするのも楽しみのひとつです。

比較文化学科 DATA

目指せる資格・免許

○旅行業務取扱管理者/●日本語教員/●学芸員/●司書/●司書教諭/●中学校教諭(社会)/●高等学校教諭(地理歴史/公民) ほか

卒業後の主な進路

旅行関連企業/国際機関/外資系企業/民間企(国際部門)/教員(中学・高校)/日本語教員/物館・美術館学芸員/金融業/サービス業/学習塾/公立図書館司書/大学院進学 など

(記号) ○→学科関連資格 ●→所定の課程の履修で資格取得
※過去5年間の実績より抜粋。

近年の国際文化学部 主な就職先

味の素株式会社	ANA ウィングス株式会社	エイチアールティーニューオータニ株式会社	株式会社TBグループ	株式会社東急百貨店
株式会社フジデン	株式会社JALスカイ	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	ニッコー株式会社	株式会社静岡博報堂
株式会社丸連	株式会社JAL-DFS	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	日本生命保険相互会社	岡三にいがた証券株式会社
トナミ国際物流株式会社	座間市役所	松本市役所	よこすか葉山農業協同組合	伊豆の国市役所
新日本空調株式会社	警視庁	横浜プリンス神奈川販売株式会社	神奈川トヨタ自動車株式会社	日本郵便株式会社
ロクシタンジャパン株式会社	横浜環境保全株式会社	社会法人親善福祉協会国際親善総合病院	大和ハウス工業株式会社	法務省